

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-01-02 号

令和元年 7 月 10 日発行

プランクトン及び貝毒検査を 7 月 8 日～7 月 10 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査(7/10)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現も見られませんでした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)		R1.7.8	R1.7.8
地 点 (St.)		香住	浜坂
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒	ND	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/mL)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/mL)	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0



※ND とは検出限界以下のことです。



＜規制の基準＞

可食部の毒量が、
麻痺性貝毒:4 マウスユニット/g
下痢性貝毒:0.16mg オクタ酸当量/kg } を超えた場合

＜注意が必要なプランクトン密度＞

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上
アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

※プランクトン密度の単位は個数/mL と表記します。(海水 1 ミリリットルあたりのプランクトン個数)
(mL:ミリリットル、1mL は 1L の千分の一)

【今後の情報予定】

- ・8 月上旬に調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 鈴木 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・笹江 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>